

授業科目	国際保健論				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NU21603J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1			
担当教員	溝部 昌子							
授業概要	人々の健康状態や健康を守る行動を形成している文化的背景について理解し、異なる文化背景を持つ人々を看護の対象とするときに必要な知識、理論、課題への取り組み方法について学ぶ。日本国内、海外を問わず、多文化社会において普遍的に求められる看護師のカルチュラル・コンピテンスを醸成する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際保健の対象を説明できる 2. 世界の健康課題について列挙できる 3. 国際保健医療協力活動について理解できる 4. 健康に影響を与える文化、気候、文化、食事を例示できる 5. レイニンガー看護論サンライズモデルに含まれる要素について説明できる 6. 患者の文化的安全を守る患者サービスを例示できる 8. 言語的障壁が医療や健康に与える影響を説明できる 9. 多文化共生社会において外国人と共に働く際の課題を検討できる 10. ある文化背景の人々の衛生習慣、保清ケアについてグラフィックレコーディングあるいは論述で示すことができる 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	40	50	10	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)		30	10				40	
知識・理解 (DP1-2)		10					10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			40	10			50	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
多様な文化的背景を持つ人々を看護の対象としたとき、健康を守ることに関連した対象の文化的背景についてアセスメントし、文化の違いを強みにした看護方法を検討し、様々な資源を利用して看護を提供できる				文化背景の異なる人々を看護の対象としたとき、健康に影響を与えている生物学的要因、生活習慣、宗教的意義、気候風土、価値観、民間療法などに気付くことができる				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	1.国際保健の対象(溝部昌子) 1章 国際看護とは、国際看護の対象 3章 世界の健康課題 グラフィックレコーディングとは	配布資料 講義 ディスカッション * 提出	【予習】教科書の該当箇所や関連する記事、資料に目を通す 【復習】身近な国際問題についてのディスカッションをグラレコとして提出	60
2	2.世界の保健医療システム(溝部昌子) 4章 世界の保健医療システム 看護の国際比較	配布資料 講義 ディスカッション * 提出	【予習】教科書の該当箇所や関連する記事、資料に目を通す 【復習】様々な国の保清ケアについて調べ、グラレコとして提出	60
3	3 世界で活躍する看護師(溝部昌子) 9章 諸外国の看護師資格制度 国連組織、政府機関、非営利組織	配布資料 講義 * 提出	【予習】教科書の該当箇所や関連する記事、資料に目を通す 【復習】講義内容の振り返りフォームの提出	30
4	4.環境と疾病の関係(溝部昌子) 3章、7章 感染症、非感染性疾患 地域看護、災害看護	配布資料 講義 ディスカッション * 提出	【予習】教科書の該当箇所や関連する記事、資料に目を通す 【復習】様々な国の衛生習慣について調べ、グラレコとして提出	60
5	5.異文化看護(溝部昌子) 2章 文化背景が異なる人への看護 レイニンガー看護論 カルチュラル・コンピテンス文化能力	配布資料 講義 ディスカッション * 提出	【予習】教科書の該当箇所や関連する記事、資料に目を通す 【復習】講義内容の振り返りフォームの提出	30
6	6.文化的安全を守る患者サービス(溝部昌子) 2章 外国人対応医療施設認証制度 文化的に配慮した診療、看護、設備、食事、保清ケア	配布資料 講義 * 提出	【予習】教科書の該当箇所や関連する記事、資料に目を通す 【復習】講義内容の振り返りフォームの提出	30
7	7.医療における言語的障壁(溝部昌子) 8章 言語的障壁と健康、医療通訳、CLAS	配布資料 講義 * 提出	【予習】教科書の該当箇所や関連する記事、資料に目を通す 【復習】講義内容の振り返りフォームの提出	30
8	8.職員ダイバーシティ(溝部昌子) 5章 多文化共生社会における外国人への医療 外国人と共に働く、文化能力トレーニング	配布資料 講義 発表 * 提出	【予習】様々な国の衛生習慣と保清ケアについてグラレコを用いて発表する準備 【復習】発表資料の提出	60
9				
10				
11				
12				

13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	基礎看護学、看護理論			
テキスト	看護学テキスト NICE 国際看護 南江堂			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・OECD: Health at a Glance 2021 OECD Indicators ・カレン・ホランド、クリスティン・ホグ原著:グローバル化する看護・保健医療のための人材育成 多文化社会の看護と保健医療、福村出版 ・経済産業省:アウトバウンドに関する取組 医療国際展開カントリーレポート ・マデリン・M・レイニンガー原著:レイニンガー看護論、医学書院、1995 ・経済産業省:病院のための外国人患者受け入れ参考書 2014 ・厚生労働省:外国人患者の受け入れのための医療機関向けマニュアル 2018 ・CLAS Standards https://www.thinkculturalhealth.hhs.gov/ ・Office of Minority Health U.S. Department of Health and Human Services: TEACHING CULTURAL COMPETENCE IN HEALTH CARE.A REVIEW OF CURRENT CONCEPTS,POLICIES AND PRACTICES,2002 ・Office of Minority Health U.S. Department of Health and Human Services: Culturally Competent Nursing Care: A Cornerstone of Care 2016 			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日本国内には、たくさんの外国につながりのある人々が暮らしています。看護の対象として接する際に必要な知識・取り組み方を学びます。海外に興味がある方にもそうでない方にも、未来を生きる大学生が履修すべき科目の一つとして勧めます。文化的背景が話題になっている Web サイト記事などを話題提供として持ち寄ってくださいを歓迎します。
達成度評価に関するコメント	定期試験は実施しませんが、最終課題に向けた事前の課題と振り返りフォーム、最終課題が評価対象です。休まず出席してください。また、グラフィックレコーディングで絵や字を上手に描けることは求めています。論述の形態でレポートを提出することも可能です。 評価配分は、振り返りフォーム 3 回 40%、課題提出 4 回(10-10-10-20)50%、発表 10%です。